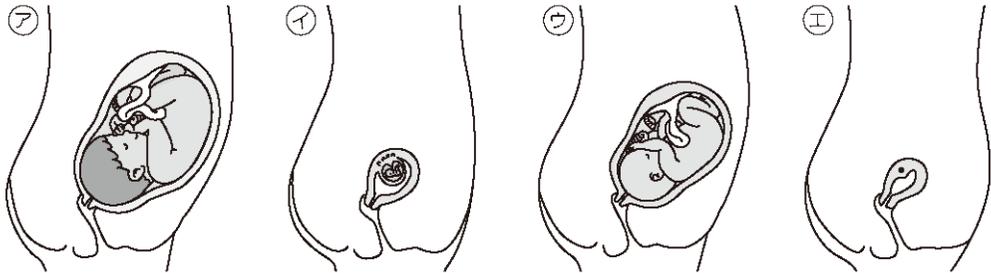


ヒトのたんじょう②

下の図は、母親の体内で育つヒトの赤ちゃんのようすです。次の問いに答えましょう。



(1) ⑦～⑩をヒトの赤ちゃんが育つ順にならべ、()に記号をかきましょう。

(⑩) → (⑦) → (⑨) → (⑧)

(2) 次の文は、上の⑦～⑩のどの図を説明したものですか。当てはまるものを選び、

()に記号をかきましょう。

- ①心ぞうが動き始める。…………… (⑩)
- ②かみの毛やつめが生えていて、たんじょうが近い。…………… (⑦)
- ③手や足の形が、わかるようになる。…………… (⑧)
- ④手や足などを活発に動かすようになる。…………… (⑨)

(3) 赤ちゃんにはへそのおというものがついていますが、そのへそのおの役目をかきましよう。

たいばんと子どもをつなぎ、養分など必要なものや、いらぬものが通るところ。

4 ヒトとメダカのたんじょうまでの育ち方を比べました。次の問いに答えましよう。

(1) ヒトとメダカの卵の大きさについて、正しいものに○をつけましよう。

- ① () ヒトの卵とメダカの卵の大きさはほぼ同じ。
- ② () ヒトの卵はメダカの卵に比べて大きい。
- ③ (○) ヒトの卵はメダカの卵に比べて小さい。

(2) メダカとヒトでは、たんじょうする前の養分の取り方がちがいます。ヒトはどのようにして養分を得ているのか、かきましよう。

母親のたいばんから、必要な養分をもらっている